

現代学生の社会規範に関する意識

—事例調査による—

佐藤 嘉晃

はじめに

我々は、1982年に「保育学生の社会規範に関する意識調査を実施した。（東京都高等保育学院紀要第5号東京都足立高等保育学院p 5～34p）

その結果の要約は以下の通りである。すなわち、(1) ミーイズムと表現されるような自己中心主義がかなり濃厚にみられること。(2) 他者との人間関係を処理することが意外に下手であること。(3) 他者とのかかわらない場面での行動選択では柔軟であるにもかかわらず一たび他者がかかわるととたんに行動選択が硬直的になること。(4) 規範を実行する際にも自己の置かれた状況とのバランス感覚を働かせることが少なく、自己中心的な判断のみによって行動選択をしてしまふことが多々みられる。(5) 行為とその行為がひき起こすであろう結果との間の予測が上手でないこともみられた。つまり、推理能力、予知能力、洞察能力の不足がうかがえる。(6) 社会規範の社会化全般についても偏った社会化すなわち、人間関係を維持していくことの基本的な意味についての社会化が不十分なため、バランスのとれた社会化がなされずに特定の事柄について、年齢にみあう社会化がなされていないというアンバランスが感じられた。（東京都高等保育学院紀要第5号 足立高等保育学院p13）

さらに、1994年には対象学生を保育学生と保育学生以外の学生（これを一般学生とよぶ）を対象をひろげ、意識調査を実施した。一般学生と保育学生との間に回答に関して大きな差はられなかった。

そこで得られた知見の要約は以下のとおりである。

(1) ミーイズムと表現されるような自己主義は、前回よりも進んで濃厚にみられた。(2) 前回も指摘したが、他者との人間関係を処理することが下手である。とりわけ、コミュニケーションが老人よりも熟達していると考えられたのが、自分の意志や感情さえも伝達手段として用いない場合がみられた。(3) 対人関係の処理の社会化が不十分である。消極的で極端な対応になってしまう。(4) 個人主義的な行動が公共の利益より勝っている。すなわち、意識と行動のギャップがあ

る。(5) 安易な対応でよしとする考え方は、成人社会にでた場合カルチャーショックを受けるであろう。(6) 敬語がうまく使えていない。これは自信のないことのうらがえしと考えられる。(社会規範に関する意識調査—12年前の学生と現代学生との比較—城西大学女子短期大学部紀要13巻1号p55~56)

そこで、今回の3回目の調査(1997年)は対象を便宜上一般学生に限定した。さらに、NHKが行った世論調査の結果も参考にしながら、社会規範に対する意識について、調査・分析をすることにした。

1. 単純集計

(1) 社会満足度(Q1-1)

あなたは、全体として今の社会にどの程度満足しているかという設問に対して大学生の多くは、「現在の社会に不満足であり」、「満足」は3割弱でしかない。いつの時代でも、若者の多くは社会の現状に不満を持つのが常である。むしろ3割もの満足度がある方に、若者の保守化し現状肯定的傾向が見られると考えられる。尚NHKの全国調査と比較してみると、不満足は4割あり大学生とは10ポイントの差があるが、これは年齢層が広いせいであろう。

(2) 社会への不満(Q1-2)

今の社会について、あなたの気持ちに近いものはどれかという設問に対して1位は「凶悪犯罪が多い」であり、2位は「皆お金にふりまわされている」であった。NHKの全国調査の結果では、1位は「皆お金にふりまわされている」。2位は「凶悪犯罪が多い」。大学生の調査とNHKの全国調査では、1位と2位が逆転しているが、社会への不満の内容は一致している。

Q1-1 あなたは全体として、今の社会にどの程度満足していますか。

反応数 横 縦 総合 %		Q1-1 社会満足度						Total
		無回答	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	
性別	無回答				4	2	1	7
					57.1	28.6	14.3	1.5
					2.1	2.4	2.1	
	男性		8	45	57	44	12	166
			4.8	27.1	34.3	26.5	7.2	36.1
			57.1	36.9	29.4	53.7	25.5	
女性		1.7	9.8	12.4	9.6	2.6		
		1	6	77	133	36	34	287
		0.3	2.1	26.8	46.3	12.5	11.8	62.4
Total		100	42.9	63.1	68.6	43.9	72.3	
		0.2	1.3	16.7	28.9	7.8	7.4	
		1	14	122	194	82	47	460
		0.2	3	26.5	42.2	17.8	10.2	100

(3) 生活満足度 (Q1-3)

あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足しているか、という設問に対して「生活に満足している」大学生は5割強であり、「満足していない」学生は4割である。NHKの全国調査では、「生活に満足している」人は実に8割である。「満足していない」人は2割弱ある。大学生の方が「満足していない」人が多いのは、まだ学生で生活、勉強、アルバイト等に多忙な生活を送っているせいであろう。

Q1-2 今の社会について、あなたのお気持ちに一番近いものはどれですか。

反応数 横 % 縦 % 総合 %		Q1-2 一般的な社会への評価											Total	
		無回答	人間関係	お金に振り回される	障害者が生きにくい	貧富の差が大きい	生活環境が悪い	伸び伸び育てられない	公衆道徳が守られない	凶悪犯が多い	女性差別	この中がない		わからない
性別	無回答	3 42.9 5.7 0.7	1 14.3 1.1 0.2				1 14.3 1.9 0.2		1 14.3 1.1 0.2		1 14.3 2.9 0.2		7 1.5	
	男性	22 13.3 41.5 4.8	28 16.9 32.2 6.1	6 3.6 30 1.3	5 3 38.5 1.7	8 4.8 28.6 1.7	17 10.2 31.5 3.7	36 21.7 57.1 7.8	18 10.8 19.6 3.9		22 13.3 62.9 4.8	4 2.4 57.1 0.9	166 36.1	
	女性	1 0.3 100 0.2	28 9.8 52.8 6.1	58 20.2 66.7 12.6	14 4.9 70 3	8 2.8 61.5 1.7	20 7 71.4 4.3	36 12.5 66.7 7.8	27 25.4 79.3 5.9	73 25.4 79.3 15.9	7 2.4 100 1.5	12 4.2 34.3 2.6	3 1 42.9 0.7	287 62.4
Total		1 0.2	53 11.5	87 18.9	20 4.3	13 2.8	28 6.1	54 11.7	63 13.7	92 20	7 1.5	35 7.6	7 1.5	460 100

Q1-3 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

反応数 横 % 縦 % 総合 %		Q1-3 社会満足度						Total
		無回答	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	
性別	無回答			2 28.6 1 0.4	3 42.9 2.3 0.7	2 28.6 3.5 0.4		7 1.5
	男性	4 2.4 50 0.9	10 6 24.4 2.2	76 45.8 36.2 16.5	41 24.7 32 8.9	28 16.9 49.1 6.1	7 4.2 43.8 1.5	166 36.1
	女性	4 1.4 50 0.9	31 10.8 75.6 6.7	132 46 62.9 28.7	84 29.3 65.6 18.3	27 9.4 47.4 5.9	9 3.1 56.3 2	287 62.4
Total		8 1.7	41 5.9	210 45.7	128 27.8	57 12.4	16 3.5	460 100

(4) 他者への信頼 (Q 2-1)

信じられるのは自分だけだと思うかの設問に対して、「思わない人」が5割強であった。「そう思う」人が2割弱であった。これは、他人を信頼する気持を半数の人がもっているということである。

NHKの全国調査では、「そうは思わない」人が6割弱であり、そう思うは3割強であり、大体傾向は似ている。他人を信頼する人が多いのは心強い限りである。

(5) 家庭への信頼 (Q 2-2)

家庭が最後のよりどころだと思うかの設問に対し、「思う」、「思わない」、「何ともいえない」の3項目は拮抗している。(3割)

NHKの全国調査では、「そう思う」が7割弱、「そうは思わない」が2割強、「何ともいえない」は1割もない。日本人の多くは、家庭こそが最後のよりどころと思っている人が多い。

Q 2-1 あなたは、結局信じられるのは自分だけだと思いますか。

反応数 横 % 縦 % 総合 %		Q 2-1 生活満足度					Total
		無回答	思う	思わない	何ともいえない	わからない	
性別	無回答		3 42.9	2 28.6	2 28.6		7 1.5
			3.6 0.7	0.8 0.4	1.8 0.4		
	男性	5 3	38 22.9	83 50	37 22.3	3 1.8	166 36.1
		50 1.1	45.2 8.3	33.2 18	33.6 8	50 0.7	
		5 1.7	43 15	165 57.5	71 24.7	3 1	287 62.4
	女性	50 1.1	51.2 9.3	66 35.9	64.5 15.4	50 0.7	
Total		10 2.2	84 18.3	250 54.3	110 23.9	6 1.3	460 100

Q 2-2 家庭こそが、最後のよりどころだと思いますか。

反応数 横 % 縦 % 総合 %		Q 2-2 家庭への信頼					Total
		無回答	思う	思わない	何ともいえない	わからない	
性別	無回答		1 14.3	1 14.3	4 57.1	1 14.3	7 1.5
			0.6 0.2	0.7 0.2	2.9 0.9	11.1 0.2	
	男性	4 2.4	46 27.7	68 41	44 26.5	4 2.4	166 36.1
		50 0.9	29.1 10	46.6 14.8	31.7 9.6	44.4 0.9	
		4 1.4	111 38.7	77 26.8	91 31.7	4 1.4	287 62.4
	女性	50 0.9	70.3 24.1	52.7 16.7	65.5 19.8	44.4 0.9	
Total		8 1.7	158 34.3	146 31.7	139 30.2	9 2	460 100

(6) 人付き合い (Q 2-3)

人づきあいは、わずらわしいと思うかという設問に対して大学生の6割強の人は「人づきあいはわずらわしいと思わない」と答えている。NHKの全国調査では7割近い人が「人づきあいはわずらわしいと思わない」と答えている。一般の人と大学生の傾向は似ている。

(7) 他律性 (Q 2-4)

自分がどうするかは、周りの人がどうするかをみて決めるのが無難だと思うかという設問に対し、大学生の5割強の人は「そうは思わない」と答えている。NHKの全国調査では大学生と同じ傾向で5割強の人は「そうは思わない」と答えている。「そう思う」人もかなりおり、大学生では4割であり、一般も4割あり大学生と同じ傾向を示している。

(8) 世間評価1 (Q 2-5)

身内には暖かいが、知らない人には冷たい社会だと思うかという設問に対して、大学生の7割

Q 2-3 人付き合いは、わずらわしいと思いますか。

反応数 横 % 縦 % 総合 %		Q 2-3 人付き合い度						Total	
		無回答	思う	やや思う	やや思わない	思わない	わからない		
性別	無回答			1 14.3 0.9 0.2	5 71.4 4.5 1.1	1 14.3 0.6 0.2		7 1.5	
		男性	4 2.4 50 0.9	14 8.4 53.8 3	46 27.7 42.2 10	36 21.7 32.1 7.8	59 35.5 33.3 12.8	7 4.2 25 1.5	166 36.1
			女性	4 1.4 50 0.9	12 4.2 46.2 2.6	62 21.6 56.9 13.5	71 24.7 63.4 15.4	117 40.8 66.1 25.4	21 7.3 75 4.6
	Total			8 1.7	26 5.7	109 23.7	112 24.3	177 38.5	28 6.1

Q 2-4 自分がどうするかは、周りの人がどうするかをみて決めるのが無難だと思いますか。

反応数 横 % 縦 % 総合 %		Q 2-3 他律性						Total	
		無回答	思う	やや思う	やや思わない	思わない	わからない		
性別	無回答		2 28.6 5.3 0.4	2 28.6 1.3 0.4	1 14.3 0.9 0.4	2 28.6 1.5 0.4		7 1.5	
		男性	4 2.4 50 0.9	18 10.8 47.4 3.9	55 33.1 36.7 12	32 19.3 30.2 7	50 30.1 36.5 10.9	7 4.2 33.3 1.5	166 36.1
			女性	4 1.4 50 0.9	18 6.3 47.4 3.9	93 32.4 62 20.2	73 25.4 68.9 15.9	85 29.6 62 15.5	14 4.9 66.7 3
	Total			8 1.7	38 8.3	150 32.6	106 23	137 29.8	21 4.6

の人は「そう思っており」、これは大学生の結果と似ている。大学生はいろいろな意味で保護されておき数値が高くなったと思われる。

(9) 世間評価 2 (Q 2-6)

何かと気ぜわしくて、心にゆとりを持ちにくい社会だと思うかという設問に対し、大学生で「そう思っている」人は8割強の人である。NHKの全国調査では7割の人が「そう思っている」。大学生と一般人と比較すると10ポイント違うが、大学生は勉強、アルバイトその他で特に心のゆとりを持ちにくいのであろう。

(10) 世間評価 3 (Q 2-7)

人は誰もが、お互いに支えたり、支えられたりしながら生活していると思うかという設問に対し、大学生の9割の人が「そう思っている」。NHKの全国調査では、9割弱の人が「そう思っており」、傾向が似ている。大学生・一般人ともに世間に対する評価は似ている。

Q 2-5 身内には暖かいが、知らない人には冷たい社会だと思いますか。

反応数 横 縦 総合		Q 2-5 世間評価						Total	
		無回答	思う	やや思う	やや思わない	思わない	わからない		
性別	無回答		2	3	2			7	
			28.6	42.9	28.6			1.5	
			1.3	1.8	3.6				
	男性		4	65	51	25	13	8	166
			2.4	39.2	30.7	15.1	7.8	4.8	36.1
			50	40.9	30.7	45.5	36.1	22.2	
女性		4	92	112	28	23	28	287	
		1.4	32.1	39	9.8	8	9.8	62.4	
		50	57.9	67.5	50.9	63.9	77.8		
Total			8	159	166	55	36	36	460
			1.7	34.6	36.1	12	7.8	4.8	100

Q 2-6 何かと気ぜわしく、心にゆとりを持ちにくく社会だと思いますか。

反応数 横 縦 総合		Q 2-6 世間評価 2						Total	
		無回答	思う	やや思う	やや思わない	思わない	わからない		
性別	無回答		6		1			7	
			85.7		14.3			1.5	
			2.8		4				
	男性		4	78	59	8	12	5	166
			2.4	47	35.5	4.8	7.2	3	36.1
			50	36.8	34.5	32	48	26.3	
女性		4	128	112	16	13	14	287	
		1.4	44.6	39	5.6	4.5	4.9	62.4	
		50	60.4	65.5	64	52	73.7		
Total			8	212	171	25	25	19	460
			1.7	46.1	37.2	5.4	5.4	4.1	100

Q 2-7 人は誰もが、お互いに支えたり、支えられたりしながら生活していると思いますか。

反応数 横 縦 総合		Q 2-7 世間評価3						Total
		無回答	思う	やや思う	やや思わない	思わない	わからない	
性別	無回答		4 57.1 1.6 0.9	1 14.3 0.8 0.2	1 14.3 2.1 0.2	1 14.3 2.8 0.2		7 1.5
	男性	2 100 0.4	78 47 31.6 17	45 27.1 36.6 9.8	17 10.2 36.2 3.7	21 12.7 58.3 4.6	3 1.8 60 0.7	166 36.1
	女性		165 57.5 66.8 35.9	77 26.8 62.6 16.7	29 10.1 61.7 6.3	14 4.9 38.9 3	2 0.7 40 0.4	287 62.4
Total		2 0.4	247 53.7	123 26.7	47 10.2	36 7.8	5 1.1	460 100

(11) 善悪判断の普遍性 (Q 3-1)

なにがよいことか悪いことかという判断は、どの人もそう違わないと思うかという設問に対し、大学生では「そうは思わない」という意見の人は4割強である。NHKの全国調査では4割の人が「そう思わない」と回答しており、善悪の判断の普遍性においては、大学生、一般人の傾向は似ている。

(12) 善悪判断の困難さ (Q 3-3)

今の世の中、きれいごとをやっているだけではすまないと思うかという設問に対し、大学生の6割強の人が「そう思っている」。NHKの全国調査では5割の人が「そう思っている」。傾向としては、大学生と一般人とは似ている。

(13) 道徳不在 (Q 3-4)

人間として許されないことをする人が多くなったと思うかという設問に対し、大学生は8割が、

Q 3-1 なにがよいことか悪いことかという判断は、どの人もそうは違わないと思いますか。

反応数 横 縦 総合		Q 3-1 善悪判断の普遍勢					Total
		無回答	そう思う	思わない	何とも言えない	わからない	
性別	無回答		1 14.3 0.7 0.2	4 57.1 1.9 0.9	2 28.6 2 0.4		7 1.5
	男性	3 1.8 75 0.7	34 20.5 25.4 7.4	99 59.6 47.4 21.5	26 15.7 26.3 5.7	4 2.4 28.6 0.9	166 36.1
	女性	1 0.3 25 0.2	99 34.5 73.9 21.5	106 36.9 50.7 23	71 24.4 71.7 15.4	10 3.5 71.4 2.2	287 62.4
Total		4 0.9	134 29.1	209 45.4	99 21.5	14 3	460 100

Q 3-3 今の世の中、きれいごとをやっているだけではすまないと思いますか。

反応数 横 縦 総合 %		Q 3-2 善悪判断の困難さ					Total
		無回答	そう思う	思わない	何とも言えない	わからない	
性別	無回答		5	2			7
			71.4	28.6			1.5
			1.9	2.4			
	男性	3	97	36	26	4	166
		1.8	58.4	21.7	15.7	2.4	36.1
		100	36.7	43.4	25.5	50	
	0.7	21.1	7.8	5.7	0.9		
女性		162	45	76	4	287	
		56.4	15.7	26.5	1.4	62.4	
		61.4	54.2	74.5	50		
		35.2	9.8	16.5	0.9		
Total		3	264	83	102	8	460
		0.7	57.4	18	22.2	1.7	100

Q 3-4 人間として許されないことを、する人が多くなったと思いますか。

反応数 横 縦 総合 %		Q 3-4 道徳不在					Total
		無回答	そう思う	思わない	何とも言えない	わからない	
性別	無回答		7				7
			100				1.5
			1.9				
	男性	3	122	19	21	1	166
		1.8	73.5	11.4	12.7	0.6	36.1
		100	32.8	61.3	43.8	16.7	
	0.7	26.5	4.1	4.6	0.2		
女性		243	12	27	5	287	
		84.7	4.2	9.4	1.7	62.4	
		65.3	38.7	56.3	83.3		
		52.8	2.6	5.9	1.1		
Total		3	372	31	48	6	460
		0.7	80.9	6.7	10.4	1.3	100

「そう思っている」。NHKの全国調査では8割強の人がそう思っている」。大学生と一般人とは傾向が似ている。

(14) 道徳の実効性 (Q 3-5)

あなたは、日本では公衆道徳は守られていると思うか。それとも、守られていないと思うかという設問に対し、「あまり守られていない」と答えた学生が7割である。NHKの全国調査では、同様の答えは6割強で傾向は同じである。「守られている」と答えた人は大学生は2割で、一般人は3割強である。道徳の実効性については大学生と一般人は傾向が似ている。

(15) 社会規範の実効度1 (Q 3-6)

あなたの目の前で交通事故がおき、けが人がでたら、あなたはどうするかという設問に対し、大学生は「ためらう」人が5割をこえている。続いて「すすんで助ける」(3割強)。NHKの全国調査では「すすんで助ける」人は6割近くあり、続いて「ためらう」が4割近い。大学生と一

Q 3-5 あなたは、日本では公衆道徳は守られていると思いますか。それとも、守られていないと思いますか。

反応数 横 縦 総合 % % % %		Q 3-5 道徳の実効性						Total	
		無回答	守られて いる	ほぼ守ら れている	余り守られ ていない	全々守られ ていない	わからない		
性別	無回答				4 57.1 1.6 0.9	2 28.6 2.6 0.4	1 14.3 4.8 0.2	7 1.5	
		男性	3 1.8 100 0.7	3 1.8 42.9 0.7	40 24.1 37.7 8.7	79 47.6 32.2 17.2	32 19.3 41 7	9 5.4 42.9 2	166 36.1
			女性		4 1.4 57.1 0.9	66 23 62.3 14.3	162 56.4 66.1 35.2	44 15.3 56.4 9.6	11 3.8 52.4 2.4
	Total		3 0.7	7 1.5	106 23	245 53.3	78 17	21 4.6	460 100

Q 3-6 あなたはの目の前で交通事故が起き、けが人が出たら、あなたはどうしますか。

反応数 横 縦 総合 % % % %		Q 3-6 社会規範の実効度 1						Total	
		無回答	すすんで手 助けする	ためらう	みて見ぬ 振り	関わりた くない	わからない		
性別	無回答		1 14.3 0.6 0.2	5 71.4 1.9 1.1			1 14.3 5.3 0.2	7 1.5	
		男性	3 1.8 100 0.7	63 38 39.9 13.7	82 49.4 30.5 17.8	2 1.2 50 0.4	5 3 71.4 1.1	11 6.6 57.9 2.4	166 36.1
			女性		94 32.8 59.5 20.4	182 63.4 67.7 39.6	2 0.7 50 0.4	2 0.7 28.6 0.4	7 2.4 36.8 1.5
	Total		3 0.7	158 34.3	269 58.5	4 0.9	7 1.5	19 4.1	460 100

一般人では、第1位の答えが逆転している。大学生は社会規範の実行度1において、一般人より消極的であることがわかる。

(16) 社会規範の実効度 2 (Q 3-7)

禁煙の電車の中で、たばこを吸う人がいたら、あなたはどうするかの設定に対し、大学生は「ためらう」人が4割近くいる。続いて「みてみないふり」が2割強いる。NHKの全国調査では「ためらう」人が6割をこえている。続いて「みてみないふり」をする人が1割いる。一般人では「ためらう」人が大学生より多いとはおどろきである。社会規範の実行度2における大学生よりも意識が低いことがわかる。

(17) 社会規範の実効度 3 (Q 3-8)

人の子でも、悪いことをしていたら、あなたはどうかという設定に対し、大学生の5割は「ためらう」と答えている。つづいて2割弱の大学生が「注意する」と答えている。NHKの全

Q 3-7 禁煙の電車の中で、ただこを吸う人がいたら、あなたはどうしますか。

反応数 横 縦 総合 % % %		Q 3-7 社会規範の実効度 2					Total	
		注意する	ためらう	みて見ぬ振り	関わりたくない	わからない		
性別	無回答		2	3	2		7	
			28.6	42.9	28.6		1.5	
			1.1	2.8	1.6			
	男性		9	60	25	58	14	166
			5.4	36.1	15.1	34.9	8.4	36.1
			45	33.7	23.1	45	56	
女性		2	13	5.4	12.6	3		
		11	116	80	69	11	287	
		3.8	40.4	27.9	24	3.8	62.4	
Total		55	65.2	74.1	53.5	44		
		2.4	25.2	17.4	15	2.4		
		20	178	108	129	25	460	
		4.3	38.7	23.5	28	5.4	100	

Q 3-8 人の子でも、悪いことをしたら、あなたはどうしますか。

反応数 横 縦 総合 % % %		Q 3-8 社会規範の実効度 3					Total	
		注意する	ためらう	みて見ぬ振り	関わりたくない	わからない		
性別	無回答		1	4		2	7	
			14.3	57.1		28.6	1.5	
			1.1	1.7		3		
	男性		33	72	15	37	9	166
			19.9	43.4	9	22.3	5.4	36.1
			37.5	31.3	28.3	55.2	40.9	
女性		7.2	15.7	3.3	8	2		
		54	154	38	28	13	287	
		18.8	53.7	13.2	9.8	4.5	62.4	
Total		61.4	67	71.7	41.8	59.1		
		11.7	33.5	8.3	6.1	2.8		
		88	230	53	67	22	460	
		19.1	50	11.5	14.6	4.8	100	

国調査では、5割弱の人が「すすんで注意する」と答え、つづいて4割の人人が「ためらう」と答えている。社会規範の実行度3においては大学生は消極的である。

(18) 社会規範の実行度 4 (Q 3-9)

今の日本の社会では、道路にゴミをすてる、いわゆるゴミのポイ捨ては、どのくらいあると思うかという設問に対し、大学生では「大変多い」が7割弱である。NHKの全国調査では「大変多い」は4割で、大学生とは25ポイントの差がある。一般人のモラルの低さの反映と考えられる。

(19) 社会規範の実効度 5 (Q 3-10)

今の日本の社会では、飲酒運転はどのくらいあると思うかという設問に対し、大学生の5割強が「かなり多い」と思っている。つづいて「大変多い」と思っている。(3割弱) NHKの全国調査では、「かなり多い」が4割弱つづいて少しはあるが3割強である。大学生と一般人との

Q 3-9 今の日本の社会では、道路などにゴミを捨てる、いわゆるポイ捨てはどれくらいあると思いますか。

反応数 横 縦 総合 % % %		Q 3-7 社会規範の実効度 4					Total
		大変多い	かなり多い	少しはある	全くない	わからない	
性別	無回答	6	1				7
		85.7	14.3				1.5
		1.9	0.8				
	男性	116	45	3		2	166
		69.9	27.1	1.8		1.2	36.1
		36.6	34.9	30		50	
女性	195	83	7		2	287	
	67.99	28.9	2.4		0.7	62.4	
	36.6	64.3	70		50		
Total	25.2	18	1.5		0.4		
	317	129	10		4	460	
	68.9	28	2.2		0.9	100	

Q 3-10 今の日本の社会では、飲酒運転はどれくらいあると思いますか。

反応数 横 縦 総合 % % %		Q 3-10 社会規範の実効度 5					Total
		大変多い	かなり多い	少しはある	全くない	わからない	
性別	無回答	3	4				7
		42.9	57.1				1.5
		2.3	1.6				
	男性	48	80	30		8	166
		28.9	48.2	18.1		4.8	36.1
		37.5	31.6	48.4		47.1	
女性	77	169	32		9	287	
	26.8	58.9	11.1		3.1	62.4	
	60.2	66.8	51.6		52.9		
Total	16.7	36.7	7		2		
	128	253	62		17	460	
	27.8	55	13.5		3.7	100	

結果は異っている。前回同様、一般人のモラルの低さの反映と考えられる。

(20) 社会規範の実効度 6 (Q 3-11)

今の日本の社会では、キセル乗車は、どのくらいあると思うかという設問に対し、大学生の6割強が「大変多い」と思っている。つづいて、「かなり多い」が3割弱ある。NHKの全国調査では、「少しはある」が6割、つづいて、「かなり多い」が2割となっており、大変多いは1割にもみない。前問と同様一般人のモラルの低さの反映と考えられる。

(21) 社会規範の実効度 7 (Q 3-12)

今の日本の社会では、裏口入学は、どれくらいあると思うかの設問に対し、大学生の5割が「少しはある」と思っている。つづいて2割強の人は「かなり多い」と思っている。NHKの全国調査では、「少しはある」が、6割弱、つづいて1割強の人が「わからない」、「かなり多い」と答えている。裏口入学はある、と肯定している意見が、大学生、一般人で半数を占めているの

Q 3-11 今の日本の社会では、キセル乗車はどれくらいあると思いますか。

反応数 横 縦 総合		Q 3-11 社会規範の実効度 6					Total
		大変多い	かなり多い	少しはある	全くない	わからない	
性別	無回答	6	1				7
		85.7	14.3				1.5
		2	0.8				
	男性	95	53	13	1	4	166
		57.2	31.9	7.8	0.6	2.4	36.1
		32.4	40.8	44.8	100	57.1	
女性	20.7	11.5	2.8	0.2	0.9		
	192	76	16		3	287	
	66.9	26.5	5.6		1	62.4	
Total	65.5	58.5	55.2		42.9		
	41.7	16.5	3.5		0.7		
	293	130	29	2	7	460	
	63.7	28.3	6.3	0.2	1.5	100	

Q 3-12 今の日本の社会では、裏入学は、どれくらいあると思いますか。

反応数 横 縦 総合		Q 3-12 社会規範の実効度 7					Total
		大変多い	かなり多い	少しはある	全くない	わからない	
性別	無回答	1	2	4			7
		14.3	28.6	57.1			1.5
		2.2	1.7	1.7			
	男性	0.2	0.4	0.9			
		25	31	89	2	19	166
		15.1	18.7	53.6	1.2	11.4	36.1
女性	54.3	26.5	38.2	50	31.7		
	5.4	6.7	19.3	0.4	4.1		
	20	84	140	2	41	287	
Total	7	29.3	48.8	0.7	14.3	62.4	
	43.5	71.8	60.1	50	68.3		
	4.3	18.3	30.4	0.4	8.9		
Total	46	117	233	4	60	460	
	10	25.4	50.7	0.9	13	100	

はおどろきである。

(2) 社会規範の実効度 8 (Q 3-13)

今の日本の社会では、脱税は、どれくらいあると思うかという設問に対して、大学生では「かなり多い」が4割強いる。つづいて「大変多い」が3割である。NHKの全国調査では「かなり多い」が4割弱、つづいて「少しはある」が2割強、「大変多い」が2割強となっている。「大変多い」は大学生、一般人とも共通認識をしているが、つづくのは、大学生では「大変多い」一般では「少しある」、「大変多い」の順でやや異なる結果がでている。

(3) 社会規範の実効度 9 (Q 3-14)

今の日本の社会では、いじめは、どのくらいあると思うかという設問に対して、「かなり多い」が5割程度、つづいて、「大変多い」が3割強となっている。NHKの全国調査では、「かなり多い」が4割、つづいて「少しはある」が3割弱となっており、第2位の項目がこととなっている。

Q 3-13 今の日本の社会では、脱税は、どれくらいあると思いますか。

反応数 横 縦 総合 % % %		Q 3-13 社会規範の実効度 8					Total
		大変多い	かなり多い	少しはある	全くない	わからない	
性別	無回答	3	3	1			7
		42.9	42.9	14.3			1.5
		2	1.4	1.5			
	男性	58	73	26		9	166
		34.9	44	15.7		5.4	36.1
		38.9	35.1	38.8		25.7	
女性	12.6	15.9	5.7		2		
	88	132	40	1	26	287	
	30.7	46	13.9	0.3	9.1	62.4	
Total	59.1	63.5	59.7	100	74.3		
	19.1	28.7	8.7	0.2	5.7		
	149	208	67	1	35	460	
	32.4	45.2	14.6	0.2	7.6	100	

Q 3-14 今の日本の社会では、学校などでの、いわゆるいじめは、どれくらいあると思いますか。

反応数 横 縦 総合 % % %		Q 3-14 社会規範の実効度 9					Total
		大変多い	かなり多い	少しはある	全くない	わからない	
性別	無回答	6	1				7
		85.7	14.3				1.5
		3.7	0.4				
	男性	58	83	14		1	166
		34.9	50	14.5		0.6	36.1
		36	35.2	42.1		20	
女性	12.6	18	5.2		0.2		
	97	152	33	1	4	287	
	33.8	53	11.5	0.3	1.4	62.4	
Total	60.2	64.4	57.9	100	80		
	21.1	33	7.2	0.2	0.9		
	161	236	87	1	5	460	
	35	51.3	12.4	0.2	1.1	100	

大学生の方がいじめを身近かに感じているからであろう。

(24) 社会規範の実効度10 (Q 3-15)

今の日本の社会では、自分の子どもに食事を与えなかったり、いじめたりすることは、どのくらいあると思うかという設問に対して、大学生では、「少しはある」が5割、つづいて、「かなり多い」が2割となっている。NHKの全国調査では、「少しはある」が5割強、「全くない」が2割強となっている。第2位の項目がこととなっている。ちなみに大学生では、「全くない」は1割にもみえない。認識のずれが大きいのが、NHKの全国調査の時点が、1年半古く、比較するには少し無理があるので、こういう結果になったのであろう。

(25) 社会規範の実効性11 (Q 3-16)

あなたが腹立たしいと思うことを、3つだけあげてくださいという設問に対して、大学生は、第1位は「いじめ」で5割の人があげている。第2位は「児童虐待」で3割強、第3位は「ベッ

Q 3-15 今の日本の社会では、自分の子供に食事を与えなかったり、いじめたりすることは、どれくらいあると思いますか。

反応数 横 縦 総合		Q 3-15 社会規範の実効度10					Total
		大変多い	かなり多い	少しはある	全くない	わからない	
性別	無回答	1	2	4			7
		14.3	28.6	57.1			1.5
		3.7	2.2	1.5			
	男性	11	29	97	6	23	166
		6.6	17.5	58.4	3.6	13.9	36.1
		40.7	31.2	36.7	42.9	37.1	
女性	15	62	163	8	39	287	
	5.2	21.6	56.8	2.8	13.6	62.4	
	55.6	66.7	61.7	57.1	62.9		
Total	27	93	264	14	62	460	
	5.9	20.2	57.4	3	13.5	100	

Q 3-16 あなたが腹立たしいと思うことを、3つあげてください。

反応数 横 縦 総合		Q 3-16 社会規範の実効度11													Total	
		無回答	席を譲らない	禁煙場所での喫煙	ゴミのポイ捨て	飲酒運転	キセル乗車	裏口入学	脱税	買収行為	いじめ	ペットのポイ捨て	児童虐待	この中になし		わからない
性別	無回答	0	3	2	0	0	1	3	4	1	3	1	3	0	0	21
		0	42.9	28.6	0	0	14.3	42.9	57.1	14.3	42.9	14.3	42.9	0	0	1.5
		0	3.8	1.1	0	0	10	2.8	3.1	1.3	1.2	0.6	1.8	0	0	
	男性	0	0.7	0.4	0	0	0.2	0.7	0.9	0.2	0.7	0.2	0.7	0	0	
		19	26	65	43	14	2	37	44	23	91	55	53	24	2	498
		11.4	15.7	39.2	25.9	8.4	1.2	22.3	26.5	13.9	54.8	33.1	31.9	14.5	1.2	36.1
女性	4.1	5.7	14.1	9.3	3	0.4	8	9.6	5	19.8	12	11.5	5.2	0.4		
	10	49	111	73	15	7	68	82	56	158	104	115	11	2	861	
	3.5	17.1	38.7	25.4	8.2	2.4	23.7	25.6	19.5	55.1	36.2	40.1	3.8	0.7	62.4	
Total	2.2	10.7	24.1	15.9	3.3	1.5	14.8	17.8	12.2	34.3	22.6	25	2.4	0.4		
	29	78	178	116	29	10	108	130	80	252	160	171	35	4	1,380	
		6.3	17	38.7	25.2	6.3	2.2	23.5	28.3	17.4	54.8	34.8	37.2	7.6	0.9	100

トのポイ捨て」(3割強)となっている。NHKの全国調査では、第1位は「ゴミのポイ捨て」(5割弱)、第2位は「いじめ」(4割強)、第3位は「席を譲らない」(3割弱)となっている。「いじめ」は、大学生、一般人ともベストスリーの中に入っているが、社会問題としてマスコミにさかんに取り上げられているので、それだけ関心が深いせいであろう。

(26) 道徳の将来展望 (Q 3-17)

日本では、今後、公衆道徳は今より守られるようになるか、それとも守られなくなるかという設問である。大学生では、「変らない」が4割、つづいて、「やや守られない」で3割弱となっている。NHKの全国調査では、「変らない」が5割弱、「やや守られない」が5割強で、大学生と

Q 3-17 日本では、今後、公衆道徳は今より守られるようになるでしょうか。それとも守られなくなるでしょうか。

反応数 横 縦 総合 % % %		Q 3-17 道徳の将来展望							Total
		無回答	守られる	やや守られる	変わらない	やや守られない	守られない	わからない	
性別	無回答		1 14.3 25 0.2		1 14.3 0.5 0.2	4 57.1 3.1 0.9	1 14.3 1.1 0.2	7 1.5	7 1.5
	男性	1 0.6 100 0.2	1 0.6 25 0.2	13 7.8 44.8 2.8	65 39.2 35.1 14.1	34 20.5 26.4 7.4	40 24.1 44 8.7	12 7.2 57.1 2.6	166 36.1
	女性		2 0.7 50 0.4	16 5.6 55.2 3.5	119 41.5 64.3 25.9	91 31.7 70.5 19.8	50 17.7 54.9 10.9	9 3.1 42.9 2	287 62.4
Total		1 0.2	4 0.9	29 6.3	185 40.2	129 28	91 19.8	21 4.6	460 100

同じような傾向となっている。公衆道徳に対する認識は、大学生と一般人では、一致した見解となっている。

(27) 社会規範と具体的行動1 (暴力対応行動) (Q 4-1)

注) ここからは、大学生の回答を分析したものである。

友人が危険な目にあっている時どうするかということは、正義と友情、あるいは他者との連帯にかかわる判断である。1位となったのは、「自分も助けに行くが同時に周囲の人にも頼む」で4割強の人がこの選択をした。

これは社会における連帯と自己犠牲の精神を前提とした、正義の実現という反応である。

第2位は「殴られるのを覚悟して助けに行く」という反応で、3割強の人が答えている。

Q 4-1 あなたが電車に乗ったら身障者の友人が乗っていたので手を振ったとたん電車が揺れて、彼はやくざ風の男にぶつかってしまい、その男は友人のことを口汚く罵り暴力を振るいました。あなたはどうしますか。

反応数 横 縦 総合 % % %		Q 4-1 社会規範と具体的行動1 (暴力対応行動)						Total
		無回答	助けに行く	助けを頼む	知らない ふり	車掌に連絡	手助けを 頼む	
性別	無回答		4 57.1 2.5 0.9	2 28.6 3.4 0.4		1 14.3 5.3 0.2		7 1.5
	男性	3 1.8 75 0.7	73 44 46.5 15.9	13 7.8 22.4 2.8	14 8.4 53.8 3	8 4.8 42.1 1.7	55 33.1 28.1 12	166 36.1
	女性	1 0.3 25 0.2	80 27.9 51 17.4	43 15 74.1 9.3	12 4.2 46.2 2.6	10 3.5 52.6 2.2	141 49.1 71.9 30.7	287 62.4
Total		4 0.9	157 34.1	58 12.9	26 5.7	19 4.1	196 42.6	460 100

この回答は一見、望ましいもの、カッコ良い自己犠牲の精神のようにも見えるが、他人の援助を期待せずに、自分の責任において行動するという判断の背景に「他人は頼りにならない」という意識が存在したら、必ずしも望ましいだけでは済ませられない。少数ではあるが、「知らないふりをする」が「車掌に連絡する」よりも多いことに注目したい。

(28) 社会規範と具体的行動2 (コミュニケーション行動) (Q4-2)

4割の人が「場所を移る」と答えている。これでは事態は何ら積極的に解決されたわけではない。第2位は「足で押す」という極端な反応である(3割弱)。第3位に「傾けるように言う」という建設的な意見が現われる(2割弱)。

現代は消極的な態度が主流を占めている状況なのであろう。

Q4-2 雨の日にバスに乗り立っていました。座っている人の濡れた傘が自分の側に傾いているので自分の服が濡れています。あなたはどうしますか。

反応数 横 縦 総合 % % %		Q4-2 社会規範と具体的行動2 + L153 (コミュニケーション行動)					Total	
		無回答	黙って立っている	傾けるように言う	足で押す	場所を移る		
性別	無回答			2 28.6 2.3 0.4	2 28.6 1.6 0.4	4 42.9 1.6 0.7	7 1.5	
		男性	3 1.8 100 0.7	21 12.7 33.3 4.6	35 21.1 40.7 7.6	58 34.9 46.8 12.6	49 29.5 26.6 10.7	166 36.1
			女性		42 14.6 66.7 9.1	49 17.1 57 10.7	64 22.3 51.6 13.9	132 46 71.7 28.7
	Total		3 0.7	63 13.7	86 18.7	124 27	184 40	460 100

Q4-3 道路に少額の現金が入っている封筒が落ちていました。自分はこれから大事な用で人に会わなければなりません。近所には交番や人家もありません。こんな時あなたはどうしますか。

反応数 横 縦 総合 % % %		Q4-3 社会規範と具体的行動3 (功利的行動)						Total	
		無回答	警察に届ける	約束を優先	もらっておく	後日警察に届ける	元の場所におく		
性別	無回答			1 14.3 1.3 0.2	3 42.9 2.3 0.7	2 28.6 1.5 0.4	1 14.3 1.4 0.2	7 1.5	
		男性	2 1.2 66.7 0.4	8 4.8 17.4 1.7	27 16.3 35.5 5.9	65 39.2 49.2 14.1	44 26.5 33.3 9.6	20 12 28.2 4.3	166 36.1
			女性	1 0.3 33.3 0.2	38 13.2 82.6 8.3	48 16.7 63.2 10.4	64 22.3 48.5 13.9	86 30 65.2 18.7	50 17.4 70.4 10.9
	Total		3 0.7	46 10	76 16.5	132 28.7	132 28.7	71 15.4	460 100

(29) 社会規範と具体的行動3 (功利的行動) (Q4-3)

「もらっておく」、「後日警察へ届ける」という正反対の答えが、同率1位である(3割弱)。第3位は「とりあえず警察に届ける」即ち、仕事は後ですするという犠牲的精神の対応の人である。

(30) 社会規範と具体的行動4 (準備行動) (Q4-4)

「両替をしておく」が半数以上を占めている。第2位は「小銭を準備するから、そんなことはおきない」。(2割) 大部分の人は、公共交通機関を利用する際に期待される規範を社会化しているといえよう。ちなみに、第2位は「特に何もしない」である。

Q4-4 降るときに料金を支払うシステムになっているバスに乗りました。ある停留所でバスが止まったまま発車しません。客が、ポケットをひっくり返して小銭を探しています。あなたはどうしますか。

反応数 横縦 総合		Q4-4 社会規範と具体的行動4 (準備行動)					Total
		無回答	そんなことは起きない	両替をしておく	他の乗客に頼む	なにもしない	
性別	無回答		4 57.1 4.1 0.9	2 28.6 0.8 0.4		1 14.3 1.1 0.2	7 1.5
	男性	2 1.2 100 0.4	33 19.9 34 7.2	81 48.8 31.3 17.6	6 3.6 54.5 1.3	44 26.5 48.4 9.6	166 36.1
	女性		60 20.9 61.9 13	176 61.3 68 38.3	5 1.7 45.5 1.1	46 16 50.5 10	287 62.4
Total		2 0.4	97 21.1	259 56.3	11 2.4	91 19.8	460 100

Q4-5 あなたは就職のことで先輩に口添えを頼みましたが、結果はうまくいきませんでした。こんな場合あなたはどうしますか。

反応数 横縦 総合		Q4-5 社会規範と具体的行動5 (儀礼行動)						Total
		無回答	黙っている	電話で報告	手紙で報告	品物を送る	直接報告	
性別	無回答		1 14.3 2.6 0.2	4 57.1 1.2 0.9	2 28.6 3.9 0.4			7 1.5
	男性	2 1.2 100 0.4	18 10.0 46.2 3.9	120 72.3 35.7 26.1	13 7.8 25.5 2.8		13 7.8 41.9 2.8	166 36.1
	女性		20 7 51.3 4.3	212 73.9 63.1 46.1	36 12.5 70.6 7.8	1 0.3 100 0.2	18 6.3 58.1 3.9	287 62.4
Total		2 0.4	39 8.5	336 73	81 11.1	1 0.2	31 6.7	460 100

(31) 社会規範と具体的行動 5 (儀礼行動) (Q 4 - 5)

第1位となったのは、「相手に電話で報告する」(7割強)という答で、圧倒的多数を占めている。今日の著しい電話の普及状態を考えればうなづける。しかし、先輩の口ぞえ、結果報告という条件を考えると、電話ですませてしまうことは許容されにくい。

電話という伝達手段が、相手の都合に関係なく相手呼び出すという行為をともなっているものであるから、自分が相手に面と向かってしかも相手の都合に合わせて、行うことが最上の選択であろう。そのような対応をする人は1割を超えた程度しかいない。こうした安易な考え方で、成人社会にでた場合には、大きなカルチャーショックを受けるであろう。

(32) 社会規範と具体的行動 6 (配慮行動) (Q 4 - 6)

7割近い人は「音を小さくするかヘッドホーンの利用を忠告する」と答えている。何かいわれるまで放置しておくという対応は、「何もいわれなければかまわない」という発想につながるものであり、拡大すれば、「規則にないことはしてもかまわない」という発想になるともいえる。「自分のステレオだから何とも思わない」人とか「何かいわれたら謝る」人というのは、明らかに自己中心的な行動であることに変わりはない。

(33) 社会規範と具体的行動 7 (予測行動) (Q 4 - 7)

第1位は「放っておく」という人で4割弱いるのはおどろきである。次が「網棚にのせる」(3割弱)である。第3位に「くずかごに捨てる」という最も良い回答が現われる。「自分の下によせておく」が第3位(1割強)であるが、その場の事態をただ解決したにすぎず、根本解決にはならない。

Q 4 - 6 親友が高性能のステレオを買いました。あなたも聞きにくるように誘われたので彼のアパートに行きました。性能を発揮させるためにはかなり大きな音になります。隣の部屋に音が飛びこんでしまいます。あなたはどうしますか。

反応数 横 縦 総合 %		Q 4 - 6 社会規範と具体的行動 6 (配慮行動)						Total	
		無回答	音を小さくする	なにも言わない	何か言われたら謝る	引越す	了解を得る		
性別	無回答		4	2	1			7	
			57.1	28.6	14.3			1.5	
			1.2	5.7	1.1				
	男性		0.9	0.4	0.2				
			3	106	13	38	4	2	166
			1.8	63.9	7.8	22.9	2.4	1.2	36.1
女性		100	33	37.1	42.2	66.7	40		
		0.7	23	2.8	8.3	0.9	0.4		
			211	20	51	2	3	287	
Total			73.5	7	17.8	0.7	1	62.4	
			65.7	57.1	56.7	33.3	60		
			45.9	4.3	11.1	0.4	0.7		
Total			321	35	90	6	5	460	
			0.7	69.8	7.6	19.6	1.3	1.1	100

Q 4-7 電車に乗り、座っているとあなたの前に新聞紙が何枚も飛んできました。あなたは
どうしますか。

反応数 横 縦 総合 %		Q 4-7 社会規範と具体的行動 7 (予測行動)						Total	
		無回答	放っておく	自分の下に 寄せておく	すずかご に捨てる	網棚に載 せる	窓から捨 てる		
性別	無回答		2	1	2	2		7	
			28.6	14.3	28.6	28.6		1.5	
			1.1	1.6	2.8	1.5			
	男性		2	68	23	36	46	1	166
			1.2	41	13.9	15.7	27.7	0.6	36.1
			50	37.4	35.9	36.1	33.8	50	
女性		2	112	40	44	88	1	287	
		0.7	39	13.9	15.3	30.7	0.3	62.4	
		50	61.5	62.5	61.1	64.7	50		
Total			4	182	64	72	136	2	460
			0.9	39.6	13.9	15.7	29.6	0.4	100

Q 4-8 あなたが友人との待ち合わせに遅れそうなので、急いで自転車で駅まで来ました。あ
いにく駐輪所がいっぱいでした。あなたはどうしますか。

反応数 横 縦 総合 %		Q 4-8 社会規範と具体的行動 8 (適応行動)					Total	
		無回答	家に置いて くる	知人の家に 置く	開くの待つ	路地に置く		
性別	無回答		1			6	7	
			14.3			85.7	1.5	
			9.1			1.8		
	男性		3	4	30	5	124	166
			1.8	2.4	18.1	3	74.7	36.1
			50	36.4	36.7	16.7	37.6	
女性		3	6	53	25	200	287	
		1	2.1	18.5	8.7	69.7	62.4	
		50	54.5	63.9	83.3	60.6		
Total			6	83	30	330	460	
			1.3	2.4	16	6.5	71.7	100

(34) 社会規範と具体的行動 8 (適応行動) (Q 4-8)

「路地に置く」が実に7割の人であり、次いで「知人の家に置」人が2割弱である。この2つの答えで9割近い人の答えである。路地においても根本的解決にならず、放置自転車になってしまう。それでもよしとする人が、圧倒的多数を占めていることに注目したい。

2. 性別集計

全体として、10%以上の選択がされている中で、男女差が2倍以上あるものに注目する。

(1) 社会満足度 (Q 1-1)

あなたは全体として、今の社会にどの程度満足しているかという設問に対して、「今の世の中に満足している」男性は3割に対して、女性は2割強となっている。

(2) 一般的な社会への評価 (Q 1-2)

今の社会について、あなたの気持ちに一番近いものはどれかという設問に対して、男女差がでた項目は、「公衆道徳徳」と「凶悪犯罪」である。前者は男性の2割強が選択しているのに対して」女性は1割弱であり、社会規範実行度に関する男女差が見られるが、これは社会性に関する性差かも知れない。他方、「凶悪な犯罪」には性差が逆転し、女性の1/4がこれを選択しているのに比して、男性は1割強でしかない。これは暴力に対する性差とも考えられる。

(3) 家庭への信頼 (Q 2-2)

家庭こそが、最後のよりどころだと思ふかという設問に対して、「家庭こそが、最後のよりどころだと思っている」女性は、4割弱に対して、男性は3割弱にすぎない。「そう思わない」男性は4割強であり、女性は2割強で、家庭への信頼度は、男女では逆転している。

(4) 世間評価 3 (Q 2-7)

人は誰もが、お互いに支えたり、支えられたりしながら生活していると思ふかという設問に対して、「そう思っている」人は女性に多く、6割弱と半数以上の人がそう思っている。男性の「そう思っている」人は、4割弱で、女性とは10ポイントの差がある。わからない、「無回答」の人は男性の方が女性よりも約8ポイント多かった。

(5) 善悪判断の普遍性 (Q 3-1)

なにがよいことか悪いことかという判断は、どの人もそう違わないと思ふかという設問に対し、「そう思っている」人は、女性の方が男性を14ポイント離している。(女性34.5%)、男性(20.5%)。「思わない」人は男性が半数上に対し、女性は4割弱である。女性は男性と比較すると22.7%も低い。

(6) 道徳不在 (Q 3-4)

人間として許されないことをする人が多くなったと思ふかという設問に対して、女性の84.7%の人は「そう思う」と答えている。男性は73.5%が「そう思う」と答えているが、男女差は11.2ポイントある。

(7) 道徳の実効性 (Q 3-5)

あなたは日本では公衆道徳は守られていると思ふか。それとも、守られていないと思ふか。と

いう設問に対し、女性の56.4%（半数以上）は、「あまり守られていない」と答えている。男性は、47.6%であり、女性とは8.8ポイントの開きがある。

(8) 社会規範の実効度1 (Q3-6)

あなたの目の前で交通事故が起き、けが人が出たら、あなたはどうかという設問に対して、女性の63.4%の人は手助けしたいがためらう」と答えている。男性では49.4%となっており、女性とは14ポイントの開きがある。

(9) 社会規範の実効度2 (Q3-7)

禁煙電車の中で、たばこを吸う人がいたら、あなたはどうかという設問に対して、女性の27.9%は、「みてみぬふりをする」同様の態度を男性でみると、15.1%であり、12.8ポイント差がある。

(10) 社会規範の実行度3 (Q3-8)

人の子供でも、悪いことをしていたら、あなたはどうかという設問に対して、女性の53.7%（半数以上）は、「注意したいが、ためらうことが多い」と答えている。男性は43.4%がためらっている。男女の差は、10.3ポイントである。また、「関わりたくない」と答えたのは、22.3%の男性で、女性は、9.8%と12.5ポイントの差がある。

(11) 社会規範の実効度5 (Q3-10)

今の日本の社会では、飲酒運転がどのくらいあるかという設問に対し、「かなり多い」と答えたのは女性で、6割弱の人がそう思っている。それに対して男性は48.2%すなわち5割弱で、女性と比べると10ポイント少ない。

(12) 社会規範の実行度7 (Q3-12)

今の日本の社会では、裏口入学はどれくらいあると思うかという設問に対して、「かなり多い」と思っているのは、女性の方が多く、29.3%すなわち3割弱の女性がそう思っている。男性は、18.7%（2割弱）で女性より10ポイント低い。

(13) 社会規範の実効度11 (Q3-16)

あなたが腹立たしいと思うことを、3つだけあげてくださいという設問に対して、「児童虐待」をあげたのは、女性の方が多く40.1%だった。男性は31.9%で、その差は8.2ポイントである。

(14) 道徳の将来展望 (Q3-17)

日本では、今後公衆道徳は守られるようになるか。それとも守られなくなるかという設問に対して、「やや守られない」と答えたのは女性の31.7%（3割強）で、男性は20.5%（2割）だった。その差は11.2ポイントである。

(15) 社会規範と具体的行動1 (暴力対応行動) (Q4-1)

「助けに行く」のは男性で44.0%の人である。女性では27.9%しかない。16.1ポイントの差が

に対し女性は、33.1%であり、16ポイントの差がある。助ける意欲は男性の方が高い。

(16) 社会規範と具体的行動2 (コミュニケーション行動) (Q4-2)

「足で押す」人は男性で34.9%である。女性では22.3%である。12.6ポイントの差があるが、コミュニケーションの下手なのは男性なのか。また「場所を移る」のは、女性が46.0%である。

(A)

	反応数 横 縦 総合	Q2-4 他律性						Total
		無回答	思う	やや思う	やや思わない	思わない	わからない	
Q4-1 社会規範と具体的行動1 (暴力対応行動)	無回答		2 50 0.4	1 25 0.2	1 25 0.2			4 0.9
	助けに行く	3 1.9 37.5 0.7	13 8.3 34.2 2.8	41 26.1 27.3 8.9	37 23.6 34.9 8	59 37.6 43.1 12.8	4 2.5 19 0.9	157 34.1
	助けを頼む	1 1.7 12.5 0.2	3 5.2 7.9 0.7	29 50 19.3 6.3	9 15.5 8.5 2	13 22.4 9.5 2.8	3 5.2 14.3 0.7	58 12.6
	知らないふり	1 3.8 12.5 0.2	4 15.4 10.5 0.9	7 26.9 4.7 1.5	2 7.7 1.9 0.4	11 42.3 8 2.4	1 3.8 4.8 0.2	26 5.7
	車掌に連絡		1 5.3 2.6 0.2	3 15.8 2 0.7	6 31.6 5.7 1.3	9 47.4 6.6 2		19 4.1
	手助けを頼む	3 1.5 37.5 0.7	15 7.7 39.5 3.3	69 35.2 46 15	51 26 48.1 11.1	45 23 32.8 9.8	13 6.6 61.9 2.8	196 42.6
	Total	8 1.7	38 8.3	150 32.6	106 23	137 29.8	21 4.6	460 100

(B)

	反応数 横 縦 総合	Q3-4 道徳不在					Total
		無回答	そう思う	思わない	何とも言えない	わからない	
Q4-1 社会規範と具体的行動2 (暴力対応行動)	無回答		1 25 0.3 0.2	1 25 3.2 0.2	2 50 4.2 0.4		4 0.9
	助けに行く	1 0.6 33.3 0.2	130 82.8 34.9 28.3	14 8.9 45.2 3	10 6.4 20.8 2.2	2 1.3 33.3 0.4	157 34.1
	助けを頼む		49 84.5 13.2 10.7	3 5.2 9.7 0.7	4 6.9 8.3 0.9	2 3.4 33.3 0.4	58 12.6
	知らないふり		20 76.9 5.4 4.3	4 15.4 12.9 0.9	2 7.7 4.2 0.4		26 5.7
	車掌に連絡	1 5.3 33.3 0.2	16 84.2 4.3 3.5		1 5.3 2.1 0.2	1 5.3 16.7 0.2	19 4.1
	手助けを頼む	1 0.5 33.3 0.2	156 79.6 41.9 33.9	9 4.6 29 2	29 14.8 60.4 6.3	1 0.5 16.7 0.2	196 42.6
	Total	3 0.7	372 80.9	31 6.7	48 10.4	6 1.3	460 100

男性は29.5%で、実に、16.5ポイントの差があって、消極的解決策の違いが現われている。

(17) 社会規範と具体的行動3 (功利的行動)

男性は「もらっておく (3割)」, 「警察に届ける」人は1割弱である。女性は「後日警察に届ける」が第1位で (3割), 「もらっておく (2割強)」, 「警察に届ける」は1割強である。男

(C)

	反応数 横 縦 総合	Q3-6 社会規範の実効度1						Total
		無回答	すすんで手 助けする	ためらう	みて見ぬ ふり	関わりた くない	わからない	
Q4-3 社会規範と具体的行動3 (暴力対応行動)	無回答		1 25 0.6 0.2	1 25 0.4 0.2		2 50 28.6 0.4		4 0.9
	助けに行く	1 0.6 33.3 0.2	72 45.9 45.6 15.7	77 49 28.6 16.7		1 0.6 14.3 0.2	6 3.8 31.6 1.3	157 34.1
	助けを頼む		17 29.3 10.8 3.7	39 67.2 14.5 8.5		1 1.7 14.3 0.2	1 1.7 5.3 0.2	58 12.6
	知らないふり		3 11.5 1.9 0.7	20 76.9 7.4 4.3	2 7.7 50 0.4		1 3.8 5.3 0.2	26 5.7
	車掌に連絡	1 5.3 33.3 0.2	6 31.6 3.8 1.3	9 47.4 3.3 2			3 15.8 15.8 0.7	19 4.1
	手助けを頼む	1 0.5 33.3 0.2	59 30.1 37.3 12.8	123 62.8 45.7 26.7	2 1 50 0.4	3 1.5 42.9 0.7	8 4.1 42.1 1.7	196 42.6
	Total	3 0.7	158 34.3	269 58.5	4 0.9	7 1.5	19 4.1	460 100

(D)

	反応数 横 縦 総合	Q3-1 善悪判断の普遍性					Total
		無回答	そう思う	思わない	何とも言え ない	わからない	
Q4-2 社会規範と具体的行動4 (コミュニケーション行動)	無回答		2 66.7 1.5 0.4	1 33.3 0.5 0.2			3 0.7
	黙って立っている		22 34.9 16.4 4.8	26 41.3 12.4 5.7	14 22.2 14.1 3	1 1.6 7.1 0.2	63 13.7
	傾けるよう言う	2 2.3 50 0.4	22 25.6 16.4 4.8	43 50 20.6 9.3	17 19.8 17.2 3.7	2 2.3 14.3 0.4	86 18.7
	足で押す	1 0.8 25 0.2	28 22.6 20.9 6.1	64 51.6 30.6 13.9	28 22.6 28.3 6.1	3 2.4 21.4 0.7	124 27
	場所を移る	1 0.5 25 0.2	60 32.6 44.8 13	75 40.8 35.9 16.3	40 21.7 40.4 8.7	8 4.3 57.1 1.7	184 40
	Total	4 0.9	134 29.1	209 45.4	99 21.5	14 3	460 100

性と女性とでは行動のとり方がかなりことなる。女性の方が正直であるという結果である。

(18) 社会規範と具体的行動 4 (準備行動) (Q 4 - 6)

「両替をしておく」のは女性で、61.3%である。

男性は48.8%で、その差は12.5ポイントある。要領の良いのは女性の方である。また、「なん

(E)

	反応数 横 縦 総合 % % %	Q 3 - 3 善悪判断の困難さ					Total
		無回答	そう思う	思わない	何とも言えない	わからない	
Q 4 - 3 社会規範と具体的行動 5 (功利的行動)	無回答		1 33.3 0.4 0.2	1 33.3 1.2 0.2	1 33.3 1 0.2		3 0.7
	警察に届ける		24 52.2 9.1 5.2	8 17.4 9.6 1.7	13 28.3 12.7 2.8	1 2.2 12.5 0.2	46 10
	約束を優先	1 1.3 33.3 0.2	55 72.4 20.8 12	7 9.2 8.4 1.5	12 15.8 11.8 2.6	1 1.3 12.5 0.2	76 16.5
	もらっておく	1 0.8 33.3 0.2	75 56.8 28.4 16.3	30 22.7 36.1 6.5	24 18.2 23.5 5.2	2 1.5 25 0.4	132 28.7
	後日警察に届ける	1 0.8 33.3 0.2	72 54.5 27.3 15.7	23 17.4 27.7 5	34 25.8 33.3 7.4	2 1.5 25 0.4	132 28.7
	元の場所におく		37 52.1 14 8	14 19.7 16.9 3	18 25.4 17.6 3.9	2 2.8 25 0.4	71 15.4
	Total	3 0.7	264 57.4	83 18	102 22.2	8 1.7	460 100

(F)

	反応数 横 縦 総合 % % %	Q 2 - 6 世間評価 2					Total	
		無回答	思う	やや思う	やや思わない	思わない		わからない
Q 4 - 4 社会規範と具体的行動 6 (準備行動)	無回答		1 50 0.5 0.2			1 50 4 0.2	2 0.4	
	そんなことは起きない	2 2.1 25 0.4	51 52.6 24.1 11.1	34 35.1 19.9 7.4	2 2.1 8 0.4	3 3.1 12 0.7	5 5.2 26.3 1.1	97 21.1
	両替をしておく	5 1.9 62.5 1.1	116 44.8 54.7 25.2	96 37.1 56.1 20.9	21 8.1 84 4.6	12 4.6 48 2.6	9 3.5 47.4 2	259 56.3
	他の客に頼む		5 45.5 2.4 1.1	3 27.3 1.8 0.7		2 18.2 8 0.4	1 9.1 5.3 0.2	11 2.4
	なにもしない	1 1.1 12.5 0.2	39 42.9 18.4 8.5	38 41.8 22.2 8.3	2 2.2 8 0.4	7 7.7 28 1.5	4 4.4 21.1 0.9	91 19.8
	Total	8 1.7	212 46.1	171 37.2	25 5.4	25 5.4	19 4.1	460 100

にもしない」のは男性が26.5%であり、女性は16.0%とその差は10.6ポイントである。だまってこのなりゆきをみているのは、男性の方である。

(19) 社会規範と具体的行動6 (配慮行動) (Q4-6)

男性は「音を小さくする (6割強)」, 続いて「何かいわれたら謝る (2割強)」の順である。

(G)

	反応数 横 縦 総合	Q2-3 人付き合い						Total
		無回答	思う	やや思う	やや思わない	思わない	わからない	
Q4-5 社会規範と具体的行動7 (儀礼行動)	無回答		1 50 3.8 0.2				1 50 0.6 0.2	2 0.4
	黙っている	1 2.6 12.5 0.2	5 12.8 19.2 1.1	12 30.8 11 2.6	8 20.5 7.1 1.7	13 33.3 7.3 2.8		39 8.5
	電話で報告	4 1.2 50 0.9	15 4.5 57.7 3.3	78 23.2 71.6 17	83 24.7 74.1 18	132 39.3 74.6 28.7	24 7.1 85.7 5.2	336 73
	手紙で報告	2 3.9 25 0.4	4 7.8 15.4 0.9	13 25.5 11.9 2.8	13 25.5 11.6 2.8	16 31.4 9 3.5	3 5.9 10.7 0.7	51 11.1
	品物を送る		1 100 3.8 0.2					1 0.2
	直接報告	1 3.2 12.5 0.2		6 19.4 5.5 1.3	8 25.8 7.1 1.7	15 48.4 8.5 3.3	1 3.2 3.6 0.2	31 6.7
	Total	8 1.7	26 5.7	109 23.7	112 24.3	177 38.5	28 6.1	460 100

(H)

	反応数 横 縦 総合	Q3-5 道徳の実効性						Total
		無回答	守られている	ほぼ守られている	余り守られていない	全然守られていない	わからない	
Q4-6 社会規範と具体的行動8 (配慮行動)	無回答		2 66.7 28.6 0.4				1 33.3 4.8 0.2	3 0.7
	音を小さくする	2 0.6 66.7 0.4	4 1.2 57.1 0.9	71 22.1 67 15.4	180 56.1 73.5 39.1	52 16.2 66.7 11.3	12 3.7 57.1 2.6	321 69.8
	なにも言わない	1 2.9 33.3 0.2		10 28.6 9.4 2.2	18 51.4 7.3 3.9	5 14.3 6.4 1.1	1 2.9 4.8 0.2	35 7.6
	何か言われたら謝る		1 1.1 14.3 0.2	23 25.6 21.7 5	41 45.6 16.7 8.9	18 20 23.1 3.9	7 7.8 33.3 1.5	90 19.6
	引越す			1 16.7 0.9 0.2	3 50 1.2 0.7	2 33.3 2.6 0.4		6 1.3
	了解を得る			1 20 0.9 0.2	3 60 1.2 0.7	1 20 1.3 0.2		5 1.1
	Total	3 0.7	7 1.5	106 23	245 53.3	78 17	21 4.6	460 100

女性は「音を小さくする（7割強）」、続いて、「何かいわれたら謝るる（2割割弱）」である。男性と女性は、数字がやや異なるが、傾向は似ている。

3. いくつかのクロス分析の結果

(1) 社会規範と具体的行動1（暴力対応行動）×他律性

「助けにくい」が最多なのは、自律型が最多であり、逆に「手助けを頼む」が最少であるが、これは他方が他律型の人傾向を如実に示されている。すなわち、「1人で助ける」や「車掌に連絡」は少なく、「助けを頼む」、「知らないふり」、「手助けを頼む」が自律型よりも多い。

この2点から、自律型か他律型かと暴力対応傾向はある程度の相関性が見られると言えよう。

(2) 社会規範と具体的行動1（暴力対応行動）×道徳不在

「手助けを頼む」人が最多なのは、「人間として許されないことをする人が多くなったと思う」人が最多で、「助けに行く」、「助けを求む」、「知らないふり」も、「人間として許されない人が多くなった」と思う人が最多である。思わない人で「知らないふりをする」人も、わずかであるがいます。

(3) 社会規範と具体的行動1（暴力対応行動）×社会規範の実効度1

「手助けを頼む」人が多いのは、「交通事故を目撃し、けが人がでたらためらう」人が最多である。「助けに行く」人、「助けを頼む」人、「知らないふりをする」人、「車掌に連絡する」人も、「ためらう」人が最多である。「すすんで手助けする」のは「助けに行く」人で、「みてみぬふり」と「無関心を装う」人は、「知らないふりをする」人である。

(4) 社会規範と具体的行動4（コミュニケーション行動）×善悪判断の普遍性

「ぬれたカサを押しつけられても、何もいわず場所を移る」人が最多で、「善悪の判断はどの人もそう変わらないと思う」人が最多である。「なにもいわず、足で押す」人がその次でやはり「善悪の判断はどの人もそう変わらないと思わない」人が最多である。「傾けるようにいう」人も少数いるが、「善悪の判断はそう変わらないとは思わない」についている。しかし、コミュニケーションがないのは問題である。

(5) 社会規範と具体的行動5（功利的行動）×善悪判断の困難さ

「もらっておく」と対照的な行動である「後日警察に届ける」は最多で、両方ともに「世の中きれいごとをやっているだけではすまされない」と、思っている。そう思わない人の最多の答えは「もらっておく」であった。

(6) 社会規範と具体的行動7（儀礼行動）×人付き合い

「黙っている」人が多いのは「人づきあいがわずらわしいと思う」人が最多であり、「電話報告」の人が最小なもの、「人づきあいがわずらわしいと思う人」である。「手紙で報告」もあった。

つまり、一方では「わずらわしいから黙っている人」も多いが、他方では「礼状をだした」り、「品物を贈った」りすることが望ましいことと知って実行しているが故に、「わずらわしいと思っている」人々であるといえる。「わずらわしいと思われる」人は、「電話報告」が最多であり、こうした人は、電話で済ませられるから、「わずらわしくない」と考えている人か「相手の家に行

(I)

	反応数 横 縦 総合	Q 3-9 社会規範の実効度 4					Total
		無回答	そう思う	思わない	何とも言えない	わからない	
Q 4-7 社会規範と具体的行動9 (予測行動)	無回答	2 50 0.6 0.4	2 50 1.6 0.4				4 0.9
	放っておく	126 69.2 39.7 27.4	48 26.4 37.2 10.4	5 2.7 50 1.1		3 1.6 75 0.7	182 39.6
	自分の下に寄せておく	40 62.5 12.6 8.7	23 35.9 17.8 5	1 1.6 10 0.2			64 13.9
	くずかごに捨てる	51 70.8 16.1 11.1	19 26.4 14.7 4.1	1 1.4 10 0.2		1 1.4 25 0.2	72 15.7
	網棚に載せる	97 71.3 30.6 21.1	36 26.5 27.9 7.8	3 2.2 30 0.7			136 29.6
	窓から捨てる	1 50 0.3 0.2	1 50 0.8 0.2				2 0.4
	Total	317 68.9	129 28	10 22		4 0.9	460 100

(J)

	反応数 横 縦 総合	Q 3-7 社会規範の実効度 2					Total	
		注意する	ためらう	みてみぬふり	関わりたくない	わからない		
Q 4-8 社会規範と具体的行動10 (適応行動)	無回答		2 33.3 1.1 0.4			2 33.3 1.6 0.4	2 33.3 8 0.4	6 1.3
	家に置いてくる	2 18.2 10 0.4	4 36.4 2.2 0.9	3 27.3 2.8 0.7	1 9.1 0.8 0.2	1 9.1 4 0.2	11 2.4	
	知人の家に置く	4 4.8 20 0.9	48 57.8 27 10.4	9 10.8 8.3 2	19 22.9 14.7 4.1	3 3.6 12 0.7	83 18	
	開くのを待つ	1 3.3 5 0.2	14 46.7 7.9 3	7 23.3 6.5 1.5	7 23.3 5.4 1.5	1 3.3 4 0.2	30 6.5	
	路地に置く	13 3.9 65 2.8	110 33.3 61.8 23.9	89 27 82.4 19.3	100 30.3 77.5 21.7	18 5.5 72 3.9	330 71.7	
	Total	20 4.3	178 38.7	108 23.5	129 28	25 5.4	460 100	

く」ことがわずらわしくないから（最多）そのように考えているのであろう。

(7) 社会規範と具体的行動 8（配慮的行動）×道徳の実効性

「ピアノの音を小さくする」が最多で、公衆道徳は守られていないと思う人が多い。「何かいわれたら謝る」が次に多いが「公衆道徳は守られていない」と思っている。自己の行動と道徳の実効性の意識はちがっている。

なお、「公衆道徳が守られている」と思っている半数以上の人は、「ピアノの音を小さくする」としている。

(8) 社会規範と具体的行動 9（予測行動）×社会規範の実効度 4

「飛んできた新聞紙を放っておく」人が最多で、「ゴミのポイ捨ては大変多い」と認識している。（最多）、次いで「網棚にのせる人」であるが、「ゴミのポイ捨ては大変多い」と認識している。「くずかごに捨てる」が、第3位となっているが、「ゴミのポイ捨ては大変多いと認識している」が、実際の行動において、非常識な行動（窓から捨てる）をとる人は少ない。

(9) 社会規範と具体的行動10（適応行動）×社会規範の実効度 2

「自転車を路地に置く」人が最多で、「禁煙電車の中でタバコを吸う人がいたら注意したいがためらうことが多い」人である。次位は「知人の家に置く」人であるが、やはり、「禁煙電車の中でタバコを吸う人がいたら注意したいがためらう（最多）」人である。「注意する」ような積極的な人は少なく、「自転車を路地に置く」人である。

4. 結果の要約

以上の検討から、いくつかの知見が得られた。

それらを要約すると以下ようになる。

(1) 前回、前々回の結果と同様、いわゆるミーイズムと表現されるような自己中心主義がかなり色濃くみられた。

(2) 前々回も指摘したが、他人との人間関係を処理することが下手である。とりわけ老人よりも熟達していると考えられたのは、自分の意志や感情さえも、伝達する手段として用いない場合がみられた。

(3) 社会規範の実効度において、大学生は一般人よりも消極的である。

(4) モラルが高いとはいえない。また、安易な対応をよしとする考え方が浸透している。

なお、この論文をまとめるにあたり、東海大学の小川浩一教授に御助言、御協力をいただいた。付記して感謝する次第である。

注) NHKの調査結果及び調査用紙は紙数制限の関係で割愛した。

参考文献

- 東京都保育学院紀要第5号 東京都足立高等保育学院 1983
城西大学女子短期大学部紀要 第十三巻第一号 1996
放送研究と調査 NHK出版 1996